

備えを力に たすけを形に



結隊式で挨拶される吉澤副本部長

北海道教区報

第622号

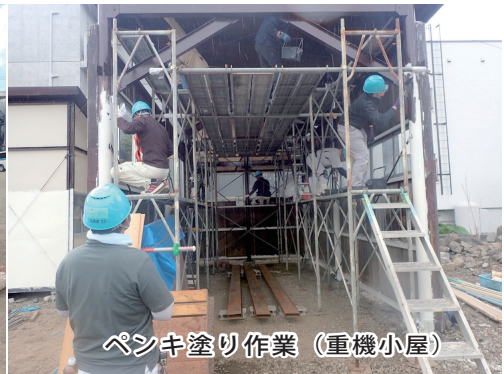
発行所

天理教北海道教務支庁
 札幌市中央区南8条西11丁目
 電話011(561)1148
 FAX011(561)1190
 E-mail:tenrikyohk@gmail.com
 ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

平時訓練 災救隊

災害救援ひのきしん隊(富山知一隊長)は、5月29日～31日の3日間、教務支庁にて、道央ブロック(余市、小樽、札幌中、札幌白旗、札幌北西、札幌東支部)及び、道内各ブロックからの有志も募り平時訓練を実施した。参加者61名、実動延べ113名。教務支庁を訓練、宿营地とし、ブロック内の連携強化、並びに連絡の徹底や職掌分担の確認を目的として行われた。

結隊式において、本部隊、吉澤清人副本部長は、「相手(被災者)がしてほしい事に対して、すべて対応できるお道の柔軟



ペンキ塗り作業(重機小屋)



枝葉の積込み

足場設置、移設、解体、運搬。サッシ解体。立ち木伐倒、枝払い、玉切、タイヤシヨベルにて軽トラックへの積込みも行った。日々の生活から人様に喜んでもらえるよう、たすけあいの精神で通らせていただく中で、無災害を願い、ブロックや支部隊員同士の今後の連携をはかる有意義な訓練となった。

性、たすけ心が災救隊には、兼ね備えられている。たすけあいの精神の集大成が災救隊だと私は思っている。」と挨拶された。作業は、物置、プレハブ、重機小屋などのペンキ塗り、サイディングを張つての外壁補修や壁の張替え、腐食防止剤塗布。



サッシ解体

北海道教区のホームページ <<https://tenrikyohk.com>> で教区報がご覧頂けます

基礎講座

基礎講座では、5月31日(日)旭川会場において、今年初の基礎講座を開催させて頂きました。

当日は、晴天の下、和田与志男先生を講師に42名の方が受講くださいました。支部内におかれましては声掛けに力を入れて下さり、地方開催の重要性を感じるとともに、これからも地方開催を通して、一人でも多くの方に陽気ぐらしの教えを届けたいと考えて



旭川会場



教務支庁会場

おります。

また、翌週の6月7日(日)には、笹田道継先生を講師に教務支庁会場でも基礎講座を開催させて頂きました。

基礎講座では、講師のお話とビデオを通して、わかりやすく丁寧に教えが説明されています。にをいがけ・おたすけの一点に講座をご活用頂きたいと思

います。次回開催は、9月6日(日)函館会場となっております。係員一同、心よりお待ちしております。 (事務局長 佐藤元展)

定例にをいがけ やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、6月16日、南7条西18丁目のなかよし公園近隣を、8名の教友がグループに分かれて戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

公園周辺の住宅街へ移動後、二人一組となり、約40分程戸別訪問を行い、ご近所の皆さんへ笑顔で声をかけながら、一軒一軒と訪ねて歩いた。

教務支庁に戻ってからの振り返りの時間では、にをいがけの仕方や声のかけ方、訪問先の方との距離感について意見交換を実施し、「感謝しながら戸別訪



戸別訪問



問にまわらせていただき、にをいがけ後は、晴れ晴れとして、心がスッキリさせていただいてます。」と参加者が振り返りました。短時間ながら実践と学びが両立した、有意義な活動となった。

(代表 藤野充普)

次回 7月16日 13時30分

教務支庁集合

海外の方へにをいがけ

●札幌東支部布教部(御厩瑞穂(みまやみほ)布教部長)は、6月13日、よさこいソーラン祭りで賑わう大通公園周辺で、海外からの観光客に向けて布教活動を実施。支部と外国語に堪能な他支部からの有志を含めた9名が参加した。

出発前、英語での路傍講演の練習を行い、市役所前や駅前通りで英語、インドネシア語、スペイン語、日本語の路傍講演を行った。

テレビ塔周辺では、札幌北西支部婦人会の有志の方々が神名



よさこいで賑わう大通で路傍講演

流しをされており、共に布教活動するお互いが勇みをいただいた。また、おちばがえりをされた事のある方に声を掛けていただくなど、小雨降る中にも益々勇んだ布教活動となった。



福祉厚生部

— 地域のおたすけ研修会 —

天理教民生・児童委員連盟橋本直之委員長）主催による「第9回地域のおたすけ研修会北海道ブロック大会」が5月30日、網走大教会を会場に開催され、道内外各地から50名近い方が参加した。

第1講では、北海道教育大学札幌校准教授の齊藤真善氏（東苗穂分教会長）が「障害のある子どもを持つ保護者に寄り添った支援のあり方について」と題して講演した。

齊藤氏は、自身の経験や研究



地域のおたすけ研修会

成果を交えながら、障害のある児童やその保護者との関わり方、子どもの成長を支えるために大切な視点について解説。参加者は、支援に携わる上で求められる理解と寄り添いの姿勢について学びを深めた。

続く第2講では、北旭道分教会長の柴田正慶氏と長万部分教会長の北山元氏による地域活動の体験発表が行われた。

柴田氏は、子ども食堂の開設を契機として広がった教会での地域活動や、それを支える地域住民や関係機関との支援の輪について紹介。

北山氏は、地域活動へ踏み出したことで生まれた地域住民との出会いや信頼関係の構築について語り、地域に根差した活動の意義と成果を参加者に伝えた。夕づとめ後には意見交換会が開かれ、参加者は連盟委員らとともに地域のおたすけ活動の現状や課題、今後の抱負について活発に語り合った。

研修を通じて、地域に根ざした活動の大切さを再確認するとともに、今後の活動への意欲を高める機会となった。

— 福豆フェス 2026 —

福豆フェス実行委員会（坂下寛幸委員長）は5月30日、網走大教会駐車場を会場に「福豆FES 2026 in ABASHIRI」を開催した。

同イベントは、教務支庁を会場に開催している福豆フェスの地方開催版として、天理教民生・児童委員連盟主催による地域のおたすけ研修会の日程に合わせて企画されたもので、網走大教会と網走支部の全面的な協力のもと実施された。



当日は近隣支部の教友はじめ地域住民に対して福祉ボランティア活動への理解と参加を呼びかける啓発の場となった。

飲食ブースや地元有名ジェラート店によるアイス販売、網走刑務所の作業品の販売を通じ



て子どもから高齢者まで幅広い世代が交流を図り、地域のつながりを育む機会となった。会場は終始和やかな雰囲気にも包まれ、参加者は世代を超えたふれあいを楽しんでいた。

同実行委員会は、「この度の



福豆フェスの成果を生かし、今後、支部やブロックにおける人と人とのつながりを深める行事として継続し、福祉ボランティア活動への理解を広げていけたら」としている。



支部総会報告

天理教網走支部・婦人会合同総会



←網走支部

網走支部(細木善信支部長)は、5月9日、網走大教会を会場に支部・婦人会合同総会を開催、46名が参加。

支部長を芯に、おつとめ衣を着用して座りづとめ、てをどりをつとめた。

函館支部→

函館支部(青井清人支部長)は、5月9日、北開分教会を会場に支部総会を開催、53名が参加。祭儀式に続いて、座りづとめ、てをどりをつとめた。



天理教札幌北西支部総会
婦人会少年会合同総会



←札幌北西支部

札幌北西支部(荒木志朗支部長)は、5月30日、札幌分教会を会場に支部・婦人会・少年会合同総会を開催、76名が参加。

4交替で座りづとめ、十二下りのおつとめをつとめた。

空知支部→

空知支部(高橋洋治支部長)は、5月31日、美唄分教会を会場に支部総会を開催、71名が参加。支部長の拍子木を芯におつとめをつとめた。



空知支部総会

- 6月1日 青年会 Maetsi
- 2日 支部長会議
- 地方委員(決算)会議
- 4日 札幌中南支部例会
- 7日 基礎講座教務支庁会場
- 14日 しらゆき例会
- 15日 合唱団練習
- 16日 やまびこ会
- 20日 婦人会ままつぶの集い
- 23日 教区長婦本
- 25日 教区長会議
- 26日 本部月次祭遥拝式
- 27日 主事会
- 27日 教区長婦庁
- 28日 支部福祉担当者会議
- 28日 里親推進研修会
- 30日 婦人会委員長講習会
- たすけ推進会議

北海道教務支庁日誌抄



—— けいじばん ——

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。所属教会を通して教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遥拝式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお問い合わせ致します。

◆やまびこ会のご案内◆
布教を志す者の会として、にをいかけ活動を中心に実動しています。どなたでもご参加いただけます。
次回は、7月16日13時30分
教務支庁集合

計報

立教一八九年・令和8年

・品原 守様 5月25日出直 (78歳)
瀬戸牛分教会長 (釧根支部)